

# 読書のすすめ

その8 R2 4 / 15

## 新任の先生紹介⑦

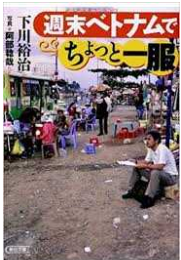
益子透先生（1年2組担任・農業）



『週末ベトナムでちよっと一服』下川裕治  
私はアジアを旅するのが好きで、著者のアジアを中心とした海外紀行が気に入っています。アジアの中で、一番オススメしたい国がベトナムです。個人旅行の面白さに魅了される一冊です。

『クマにあつたらどうするか』姉崎等

クマと遭遇したら人間はどうしたらいいのか？「クマは師匠」と言うアイヌ民族最後の狩人がクマの本当の姿を伝えてくれます。アイヌの知恵や風習も交えた語り口になっていて終始驚きと感動の連続です！クマから学ぶことで人間との共存の形が見てくるオススメの一冊です。



谷田部 駿也 先生（2年8組副担任・地歴公民）

『スポーツボランティア読本「支えるスポーツ」の魅力とは？』

二宮雅也



皆さんは「スポーツボランティア」という言葉を聞いたことがありませんか。大学生時代、ボランティアとスポーツに興味があった私はこの本を手に取りました。

この本は、ボランティアをしてみたいけれど何から始めれば良いかわからない。スポーツを始めるの好きではないけれど、手伝うことが好きな人におすすめの本です。私はこれをきつかけにスポーツボランティアの経験を通して、スポーツを「する」側では得ることができない「支える」側の楽しさを感じました。延期にはなりませんが東京オリンピックも開催予定です。新たなことを始めるきっかけになる本なので是非読んでみてください。



## 読書会 課題図書

県東地区生徒図書委員会

今年度 神栖高校を会場として県東地区生徒図書委員会が開催されます。期日は未定ですが、担当校と課題図書は決定していますので紹介します。

\*神栖高校 …『ピリオオバトル』好きな本をみんなに紹介しよう！

\*波崎高校 …『天、共に在り』中村哲



1984年よりパキスタン、アフガニスタンで支援活動を続けた治療のために現地へ赴いた日本人の医者が、なぜ1600本もの井戸を掘り、25キロにもおよぶ水路を拓くに至ったのか？「天」（自然）と「縁」（人間）をキーワードに、その数奇な半生をつづった著者の自伝。  
著者中村哲氏は、昨年末、アフガニスタンのナンガルハル州ジャラーラーバードにて、武装勢力に銃撃され死去しました。

\*波崎柳川高校 …『君と会えたから』喜多川泰



将来に対する漠とした不安を抱えながらも、自分のやるべきこともやりたいことも見つけられずに何もせず、無気力に過ごしていた平凡な高校生の僕のもとに、ある夏の日、美しい女の子がやってきた。そして、彼女から、その後の僕の人生を変える教えを聞くことになる。いつしか彼女に恋心を募らせていた彼の前に次第に明らかになっていく彼女の秘密とは……